

岡山県の 土地改良



岡山県土地改良事業団体連合会

2010 NOVEMBER
VOL. 549

伝えよう 水の音色 土の温もり 里の安らぎ ^{にし}西端の風にのせて。

—第33回全国土地改良大会・長崎大会—

第33回全国土地改良大会・長崎大会が10月26日、長崎県島原市の島原復興アリーナで開催された。「伝えよう 水の音色 土の温もり 里の安らぎ ^{にし}西端の風にのせて。」の大会テーマの下、全国から約3,500名の土地改良関係者が参集した。主催は全国水と里ネット・水と里ネット長崎、後援は農林水産省・長崎県・島原市・雲仙市・南島原市。



式典は、一瀬政太水と里ネット長崎副会長の開催宣言に始まり、国歌斉唱、宮本正則水と里ネット長崎会長の開催県挨拶、野中広務全国水と里ネット会長の主催者挨拶と続き、中村法道長崎県知事、横田修一郎島原市長の歓迎の言葉の後、松木けんこう農林水産大臣政務官が来賓祝辞を述べた。



挨拶する野中広務全国水と里ネット会長

続いて表彰式に移り、土地改良事業功績者表彰では、農林水産大臣表彰6名、農林水産省農村振興局長表彰13名、全国土地改良事業団体連合会会長表彰48名が受賞され、本県からは、長畑尚前県土連副会長が農村振興局長表彰を、矢野秀典高梁川用土地改良区理事長が全土連会長表彰を受賞された。

また、21世紀土地改良区創造運動大賞表彰では、8つの水と里ネットが受賞された。

その後、齋藤晴美農村振興局次長から基調報告がなされ、長崎県立農業大学校2年生2名により大会宣言が力強く読み上げられ、次期開催県である水と里ネット宮城へ大会旗が引き継がれた。

その後、北海道の眞野北海土地改良区理事長から緊急動議があり 一、食と地域の再生に向け、農業農村整備事業の推進に必要な平成22年度における補正予算を早期に手当てすること 一、平成23年度予算において、農業農村整備事業関係の特別枠要望を満額確保するとともに、全体規模の大幅増を図ること 一、農業水利施設の適切な保安全管理と計画的な更新整備、水田の汎用化に向けた排水対策などの農地の整備を国策として推進することが提案され、野中全国水と里ネット会長が提案の賛意を求めたところ、会場からの大きな拍手で決議とみなされた。

最後に、吹田愧全国水と里ネット副会長の閉会挨拶、奥村慎太郎水と里ネット長崎副会長の閉会宣言で式典の幕を閉じた。

その他、同会場では長崎県の農業農村整備事業を紹介したパネル展や地域の特産品の販売コーナー等が設けられ、多くの参加者で賑わった。

大会宣言

ここ長崎県は、数多くの島々と海、緑多い山々など、豊かな自然に恵まれています。

また、大陸に近く、古き昔から諸外国との交流が盛んであり、特に江戸時代においては、日本で唯一諸外国との交易が認められ、近代日本の礎となる様々な食と文化が伝来しました。

更に、稲作の起源も大陸であるとされており、西の地から伝播した稲作が我が国の大地の恵みである豊富な水資源と出会って、私達の命を支える食料を千数百年にわたり安定的に供給してきました。

しかしながら、食料の供給源である農村地域は、農産物の貿易自由化や農産物価格の低迷、担い手の減少や高齢化、耕作放棄地の増加などにより、その機能を失いつつあります。

また、食料自給率は、1960年代の80%から現在40%程度まで低下しており、多くを諸外国からの輸入に頼っています。

21世紀に入り、世界では人口増加、地球温暖化等の問題が叫ばれており、輸入に頼る食料事情は多くの問題を抱えていると多くの人々は気付いています。

地球規模での環境を維持していくためには、限りある資源を最大限活用していくことが必要だともわかっています。

特に、我が国は豊富な「水資源」や「バイオマス資源」を有しているながら、今はそれらを有効に利用しているとはいえない状況です。

我々は、「食料の安定供給」「食の安心・安全」等、国民のニーズにあわせた農業の再構築を目指して、これらの資源を有効活用しつつ、食料自給率を向上させていかなければなりません。

また、農村地域の資源の活用は、国土保全、水源涵養、水質浄化などの多面的な機能の発揮にもつながっており、更新時期を迎えている農業水利施設等の資源を、国民共有の財産として今後も活用し、再生していくことが必要であります。

そのためには、農村地域の資源活用の担い手である水土里ネットが、その役割を十分に果たすことが重要であり、今一度総力を結集することが必要です。

本日、ここに集う私達をはじめとする水土里ネットの人々は、我が国の「環境」と「資源」を将来にわたって保全、管理、維持していくため、将来を担う若者も積極的に参画し、国民一体となって、「水」「土」「里」を守り、育み、伝えていくことを、日本近代文化のさきがけとなった、ここ長崎の地から全国に向けて高らかに宣言します。

平成 22 年 10 月 26 日
第 33 回 全国土地改良大会 長崎大会

みどり
水土里ネット

REPORT

ホタル幼虫放流会（吉井川下流）

水土里ネット吉井川下流（小林健伸理事長）は、10月7日（木）岡山市東区寺山地内の角山用水でホタルの幼虫放流会を開催し、町内会、岡山市立御休小学校4年生児童36名らが参加した。

この会は、管内の小学校児童の校外学習の一環として開催されており、今回で8回目となる。



放流に先立ち、水土里ネット吉井川下流の職員から、ホタルの生態についての説明があり、児童たちは熱心に聞き入っていた。

水土里ネット吉井川下流では、こうした活動を通じて、農業や農業用施設について関心や親しみを持ってもらうとともに、水土里ネットや農業・農村の役割についてより多くの人に理解を得られるようPRに努めている。

みどり
水土里ネット

REPORT

干拓の歴史と農業水利施設の役割を学ぶ 「私たちの七区」水土里ネット高崎が 施設見学会を開催

10月8日（金）、水土里ネット高崎（北村公茂理事長）が岡山市南区西七区の七区用排水機場や用水路、干拓堤防跡などで施設見学会を開催。地元の灘崎小学校4年生17名が干拓の歴史や施設の役割等を学習した。

機場建物内で、管理者がポンプを起動して、施設の役割等について説明。児童たちは大きな音と水の勢いに驚いた様子だった。最後に除塵機を動かしてゴミを回収する仕組みについて学習。実際に回収されたゴミの中には、ペットボトルやレジ袋など不法投棄されたものもあり、児童たちも気をつけようなどと話していた。続いて、干拓堤防跡地に移動し、干拓工事の歴史や方法について説明を受け、「大変な苦勞をした昔の人はすごい」といった感想が寄せられた。



干拓の歴史など説明を受ける児童



干拓堤防跡地を見学

11月、12月は「耕作放棄地解消月間」です!

近年、農業の担い手の減少や高齢化によって、耕作放棄地が増えて農地が十分に活用されていない状況です。そこで、11月、12月の「耕作放棄地解消月間」に、“地域ぐるみで農地を守る日”を設けて、実践しましょう!

- ①農地を考える日 地域で不作付け地や農道・水路の状況について話し合しましょう。
- ②一斉耕うんの日 土づくり・雑草防除・景観保全のために一斉に「耕うん」しましょう。
- ③一斉草刈りの日 耕作放棄地やイノシシの隠れ場となる山ぎわの「草刈り」を一斉に取り組みましょう。



ビフォー（耕作放棄地）



アフター（再生された水田）

また、耕作放棄地の所有者に代わって、草刈りや耕うんによって雑草や木を取り除いて、農作物が栽培できるよう再生する活動に対して助成していますので、「耕作放棄地を使って農業経営を拡大したい農家、集落営農組織、農業生産法人の皆さん」は、ご検討ください。

耕作放棄地や支援制度に関することは、県庁農村振興課（電話 086-226-7439）または市町村農林担当課にお問い合わせください。

「疏水のある風景」写真コンテスト2010 作品募集

疏水は、村から何10キロと離れた河川に堰を設け、水路を引き、古代から近代にいたるまでに築かれてきた水田を潤しています。古代から築かれた水田造りは、とりもなおさず水路造りを意味し、田や村が増え続けるたびに水路もまた増え続けました。

古代より営々と築かれてきた農業用水路の総延長は、実に約40万km。地球10周分に相当すると言われています。このような疏水は、水田を潤すもののみならず、水辺を楽しむ親水空間として、また国土保全としての役割を果たしています。

「疏水のある風景」写真コンテストを通して、より多くの国民が身近な疏水の存在に気づき、その景観的な価値も含めて、多様な機能をさらに知って頂くとするものです。

主催/後援	全国水土里ネット（全国土地改良事業団体連合会）、疏水ネットワーク/農林水産省
題材	農業用水路などを含めた農村の景観や施設とともに生きる人々、生活の様子、疏水を活用した地域づくりなど、自由。 ※農業用水として水田かんがいや畑地かんがいに使用されている農業水利施設。農業水利施設とは、頭首工、水路、パイプラインによるスプリンクラーかんがい、貯水池（ため池は除く）などの施設をいう。
応募方法	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年以降に撮影したもので未発表（他のコンテストに応募していないもの）とする。四つ切り又は四つ切りワイドサイズのプリントを送付。（返却を希望する場合は、送料相当分の切手を同封してください。ただし入賞作品は返却できませんのでご了承ください。） ・画題、住所、氏名、年齢、職業、TEL、撮影日、撮影場所住所、疏水名及び施設の名称（不明の場合は、各都道府県の農林部局もしくは都道府県水土里ネット（土地改良事業団体連合会）に照会してください。）を規定の応募票に記入の上、平成22年12月28日（火）（当日消印有効）までに送付してください。 ・送付先 全国水土里ネット（全国土地改良事業団体連合会） 「疏水のある風景」写真コンテスト 係 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4（砂防会館2F） TEL：03（3234）5480 ・応募にあたっては、留意事項をご了解のうえ応募願います。
審査発表	平成23年1月に織作峰子先生を委員長とする審査委員会で審査し、 疏水名鑑（ http://www.inakajin.or.jp/sosui/ ）において発表・紹介する予定です。
賞	<p>賞は次のとおりとします。なお、審査結果の通知は、入賞者のみといたします。 （入賞の有無にかかわらず審査結果の通知を希望される方は、住所氏名を明記したはがきを同封してください。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最優秀賞 1点 賞状 賞品 ・優秀賞 2点 賞状 賞品 ・農林水産省農村振興局長賞 1点 賞状 賞品 ・全国土地改良事業団体連合会長賞 1点 賞状 賞品 ・入選 20点 賞品
留意事項	<p>応募作品の返却希望の方は、送料相当の切手を同封してください。 ただし、入賞作品は返却できません。また、応募されました作品は、疏水の広報活動（写真集など）に使用することとし、使用権は主催者に帰属することとします。以上につき、ご了解の上応募をお願いします。</p>
写真コンクールの問い合わせ先	<p>全国水土里ネット（全国土地改良事業団体連合会）「疏水のある風景」写真コンテスト 係 TEL：03-3234-5480 FAX：03-3234-5670 E-mail：sosui@inakajin.or.jp http://www.inakajin.or.jp/sosui/index.html【疏水名鑑HP】</p>



自然と文化のインターフェイスへ ランデス株式会社

本 社 岡山県真庭市開田 630-1 〒719-3192
TEL 0867-52-1141 FAX 0867-52-3515
ホ-ム-ジ- http://www.landes.co.jp
本社営業所 0867-52-1021(代) 岡山営業所 086-287-7777(代)
営業所/本社・岡山・山陰・広島・東広島・山口・三次出張所
工場/落合・久米南・高梁・鏡野・西原・倉敷・広島・山口・エクステリア

大和クレス株式会社

本社/〒703-8244 岡山市中区藤原西町2丁目7-34
☎(086) 271-1221 FAX(086) 273-4005
岡山営業所/〒703-8244 岡山市中区藤原西町2丁目7-34
☎(086) 271-1003 FAX(086) 271-1456
津山営業所/〒708-1125 津山市高野本郷1693-10
☎(0868) 26-5155 FAX(0868) 26-5241
長 船 工 場/〒701-4625 瀬戸内市長船町福岡1508
☎(0869) 26-2040 FAX(0869) 26-4409
英 田 工 場/〒701-2623 美作市英田青野75-1
☎(0868) 74-3125 FAX(0868) 74-3126

営業所 大阪・和歌山出張所・兵庫・広島・尾道・山口・四国・松山
工 場 豊栄・河内・兵庫・久万

oaiwa コンクリート二次製品 製造・販売

水路関連製品 環境保全型製品 ボックス関連製品 道路用製品
擁壁製品 下水道用製品

地域のみなさまに
信頼され愛される企業をめざして

コンクリート2次製品製造販売



岡山コンクリート工業株式会社

本社 〒703-8213 岡山市東区藤井288-1



TEL:086-279-0551

FAX:086-279-2918

http://www.okacon21.co.jp

津山工場/TEL:0868-29-0237
〒708-1244 岡山県津山市上村677-1
総社工場/TEL:0866-92-4666
〒719-1142 岡山県総社市栗974
熊山工場/TEL:086-995-2737
〒709-0704 岡山県赤松市沢原795-1



「緑の募金」

ご協力をお願いします

緑の募金でふせごう地球温暖化

募集期間

春のみどりの月間

4月1日～5月31日

秋のみどりの月間

10月1日～10月31日

口座振込はこちらへ

ゆうちょ銀行 01270-0-5225
中国銀行岡山駅前支店 1852041
トマト銀行岡山駅前支店 1027972

(社)岡山県緑化推進協会

岡山市北区錦町1-8 TEL・FAX (086) 221-9511

毎月10日は岡山の「米の日」です

1日3食をごはんにしてみませんか

「晴れの国おかやま」の温暖な大地で豊かな水と太陽の光を浴びて育ったおいしい岡山米を味わってください。ごはん中心の「日本型食生活」は、健康な体づくりやダイエットにも効果的です。ごはんを魚や野菜などを組み合わせ合わせた栄養バランスのとれた食事を心がけてください。



おいしいよ!岡山米

ごはんぼうや

岡山県米消費拡大推進協議会

岡山県の土地改良 題字:長野士郎書 第549号 平成22年11月1日発行

発行所●岡山県土地改良事業団体連合会 〒700-0824 岡山市北区内山下1丁目3番7号 県土連ビル

☎086-225-0921 fax086-226-0068 e-mail:info@okadoren.or.jp http://www.okadoren.or.jp

岡山支所 〒703-8292 岡山市中区中納言町1-6 岡山県土地改良会館 ☎086-273-2110 fax086-272-3937

倉敷支所 〒710-0051 倉敷市幸町12-3 倉敷土地改良会館 ☎086-423-2200 fax086-426-6455

津山支所 〒709-4603 津山市中北下1300 津山市久米支所2F ☎0868-57-7661 fax0868-57-7664

印刷所●友野印刷株式会社 ☎(086) 255-1101

